

# 2006年3月期中間 決算説明会資料

2005年11月14日



スパークス・アセット・マネジメント投信株式会社  
[www.sparx.co.jp](http://www.sparx.co.jp)

## 決算説明会資料に関して

この資料は、投資家への情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の有価証券の取引を推奨する目的、または特定の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。

数値、情報については、正確性を期すべく、万全の配慮をしておりますが、一部内部資料に基づくものもあり、財務データに関しては未監査のものでありますので、その正確性、完全性、情報や意見の妥当性等を保証するものでなく、当該データ、意見等を使用した結果についてもなんら補償するものではありません。

また、ここに記載された内容が事前連絡なしに変更されることもあります。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメント投信株式会社に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。



## 2006年3月期中間期の業績について



## 2006年3月期中間決算のポイント

- ▶ **平均運用資産残高・残高報酬は共に、過去最高を引き続き更新した**
  - 2005年8月に、運用資産残高1兆円を突破(11,440億円;2005年9月末現在)
  - 当該中間期の残高報酬は、52.36億円(前年同期比38.4%の増加)
- ▶ **成功報酬は、第2四半期実現分20.4億円を加え、当該中間期で22.68億円を達成した**
- ▶ **韓国子会社(Cosmo investment management Co., Ltd.)の運用資産残高が1,000億円を突破した**
  - 運用資産残高1,112億円を記録(2005年9月末現在)
- ▶ **デット・ファイナンスを実施し、今後のグループ成長戦略における資金調達  
の多様化を可能とした**
  - 2005年9月に、第1回無担保社債を発行(50億円、7年間、年利1.31%)



## 中間期 連結決算ハイライト

本資料における数値は全て連結ベースの数値を使用している。

	2005年3月期		2006年3月期	
	中間期	通期	中間期	前年同期比
運用資産残高(AUM)平残 (億円)	7,245	7,556	9,717	+34.1%
営業収益 (百万円)	6,823	14,277	7,729	+13.3%
営業費用・一般管理費 (百万円)	2,938	6,487	3,944	+34.2%
営業利益 (百万円)	3,884	7,790	3,785	-2.6%
経常利益 (百万円)	3,878	7,670	3,724	-4.0%
当期利益 (百万円)	2,058	4,264	1,945	-5.5%
役職員数 (期末:常勤) (人)	119	129	179	+50.4%
TOPIX (期末)	1,102.11	1,182.18	1,412.28	+28.1%



(注1) 上記表中の数字は、「前年同期比」を除き、単位未満を切り捨てて表示。「前年同期比」は、小数点以下第2位を四捨五入して表示。

(注2) 役職員数は、期末時点の人数。「非常勤役員を含む役職員数(期末)」は、120名(2005年3月期中間期)、182名(2006年3月期中間期)

(注3) 上記表中において、韓国子会社(Cosmo Investment Management Co., Ltd.)の運用資産残高は、当社持分が100%でないため含まれていない。

(注4) 上記表中「2005年3月期通期・役職員数」には、韓国子会社(Cosmo investment management Co., Ltd.)の人数は含まれていない。

## 各四半期ごとの実績推移

	第1四半期		第2四半期		対四半 期増減 額(%)	中間期	
	金額 (百万円)	対前年同 期増減額 (%)	金額 (百万円)	対前年同 期増減率 (%)		金額 (百万円)	対前年同 期増減率 (%)
営業収益	2,689	- 9.8	5,039	31.2	87.4	7,729	13.3
残高報酬	2,355	32.2	2,880	44.0	22.3	5,236	38.4
成功報酬	229	- 79.6	2,039	14.7	789.4	2,268	- 21.8
その他	104	37.0	119	87.2	14.6	224	59.9
営業費用 及び一般管理費	1,798	34.5	2,145	33.9	19.3	3,944	34.2
営業利益	890	- 45.8	2,894	29.2	225.1	3,785	- 2.6
経常利益	810	- 50.7	2,913	30.4	259.6	3,724	- 4.0
純利益	344	-61.4	1,600	37.4	364.8	1,945	- 5.5



## 運用資産残高(AUM)属性と海外投資家比率

	2003年 9月末	2004年 3月末	2004年 9月末	2005年 3月末	2005年 9月末	
					9月末	構成比
<b>投資信託委託業</b> (単位:億円)						
国内公募投信	256	282	685	839	868	7.6%
国内私募投信	926	1,049	1,327	1,398	1,623	14.2%
<b>投資顧問業</b> (単位:億円)						
個別口座(国内顧客)	435	573	576	890	1,193	10.4%
個別口座(海外顧客)	1,589	2,483	2,734	3,132	4,461	39.0%
スパークス設定海外籍ファンド	1,349	1,633	1,970	2,195	3,167	27.7%
投資助言契約	5	6	6	86	125	1.1%
<b>合計</b>	<b>4,563</b>	<b>6,028</b>	<b>7,301</b>	<b>8,542</b>	<b>11,440</b>	<b>100.0%</b>
<b>海外投資家比率</b> (単位:%)	<b>54%</b>	<b>60%</b>	<b>57%</b>	<b>56%</b>	<b>59%</b>	



(注1) 上記表中の数字は、単位未満を切り捨てて表示している。なお、2005年9月末の構成比に関しては、小数点以下第2位を四捨五入し表示している。

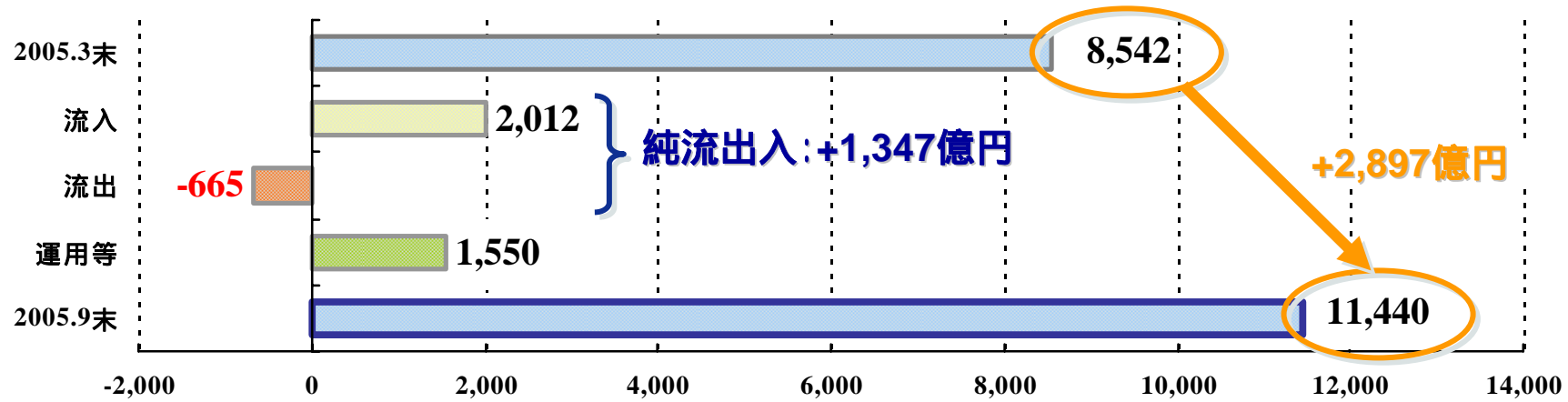
(注2) 「スパークス設定海外籍ファンド」とは、当社の海外子会社により運営されているファンドを指す。

(注3) 上記「海外投資家比率」は小数点以下第1位を四捨五入し、単位を%で表示している。また、上記の数値は社内の概算値を表示しており、正確性を保証するものではない。

(注4) 上記表中において、韓国子会社(Cosmo Investment Management Co., Ltd.)の運用資産残高は、当社持分が100%でないため含まれていない。

# 資金流出入【2005年3月末～2005年9月末】

(単位:億円)



ストラテジー別	2005年3月末	流入	流出	運用等	2005年9月末
日本株式ロング・ショート投資戦略	2,739	210	-319	317	2,947
日本株式集中投資戦略	395	165	-7	88	641
ファンド・オブ・ファンズ投資戦略	267	1	-2	58	323
日本株式一般投資戦略	2,876	480	-207	685	3,834
日本株式中小型投資戦略	1,517	529	-128	265	2,184
バリュー・クリエーション投資戦略	704	625	-	136	1,466
未公開株投資戦略	43	-	-	-0	42
合計	8,542	2,012	-665	1,550	11,440

(注1) 上記表中の数字は、単位未満を切り捨てて表示している。

(注2) 上記表中において、韓国子会社 (Cosmo Investment Management Co., Ltd.) の運用資産残高は当社持分が100%でないため含まれていない。(参考: 2005年9月末の運用資産残高は1,112億円、対3月末比447億円増)

## 営業収益 内訳

	2005年3月期		2006年3月期	
	中間期	通期	中間期	前年同期比
残高報酬 (百万円)	3,782	7,962	5,236	+38.4%
料率(手数料控除後) (%)	0.89	0.88	0.85	-0.04
支払手数料控除後 (百万円)	3,211	6,626	4,129	+28.5%
成功報酬 (百万円)	2,900	6,011	2,268	-21.8%
対AUM付帯比率 (%)	59.0	55.0	53.3	-5.7
その他営業収益 (百万円)	140	303	224	+59.9%
営業収益 合計 (百万円)	6,823	14,277	7,729	+13.3%

(注1) 上記表中の数字は「前年同期比」「残高報酬・料率(手数料控除後)」を除き、単位未満を切り捨てて表示している。「前年同期比」については、小数点以下第3位を四捨五入して表示をしている「残高報酬・料率(手数料控除後)」を除き、小数点以下第2位を四捨五入して表示している。なお「残高報酬・料率(手数料控除後) (%)」と「成功報酬・対AUM付帯比率 (%)」の「前年同期比」は変化率ではなく、単純な増減幅を表示している。

(注2) 上記「残高報酬・支払手数料控除後」は少数株主持株分利益の調整を行っている。また、2006年3月期中間期の値に関しては、韓国子会社であるCosmo Investment Management Co., Ltd. 分の経費を控除し表示している。

(注3) 上記表中の「残高報酬・料率(手数料控除後)」において、Cosmo Investment Management Co., Ltd. は当社持分が100%でないため含まれていない。



## 基礎収益力

残高報酬(手数料控除後)のみで確保できる経常的な利益は、どのくらいか？

		2005年3月期	2006年3月期
		通期	中間期(12ヶ月換算)
AUM平残	(億円)	7,556	9,717
残高報酬料率 (手数料控除後)	(%)	0.88	0.85
残高報酬 (手数料控除後)	(百万円)	6,649	8,259
経常的経費	(百万円)	3,508	4,069
<b>基礎収益</b>	<b>(百万円)</b>	<b>3,141</b>	<b>4,190</b>
役職員数(常勤)	(人)	127	179

(注1) 上記表中数字は単位未滿を切り捨て表示している。「残高報酬」は概算値として、残高報酬料率からの年換算値を表示している。

(注2) 「経常的経費」とは 支払手数料全額、実績賞与、その他特殊要因により生じた費用等の合計を営業費用・一般管理費の合計から控除した費用の合計を指し、2006年3月期第1四半期の「経常的経費」については、当該中間期の経常的経費を基に、12ヶ月換算した数字を用いている。

(注3) 「役職員数」は非常勤役職員を含まない。当該中間期(12ヶ月換算)の役職員数は、2006年3月末まで人員増減が無い前提で算定している。

(注4) 上記表中の「残高報酬・料率(手数料控除後)」において、Cosmo Investment Management Co., Ltd.は当社持分が100%でないため含まれていない。



## 成功報酬 内訳

		2005年3月期		2006年3月期	
		中間期	通期	中間期	前年同期比
AUM平残	(億円)	7,245	7,556	9,717	+34.1%
日本株式ロング・ショート	(百万円)	2,282	4,484	1,722	-24.5%
日本株式集中	(百万円)	413	931	205	-50.3%
ファンド・オブ・ファンズ	(百万円)	1	44	10	+841.6%
日本株式一般	(百万円)	191	220	8	-95.7%
日本株式中小型	(百万円)	11	32	5	-52.3%
バリュー・クリエーション	(百万円)	-	297	275	-
その他	(百万円)	-	-	40	-
成功報酬 合計	(百万円)	2,900	6,011	2,268	-21.8%

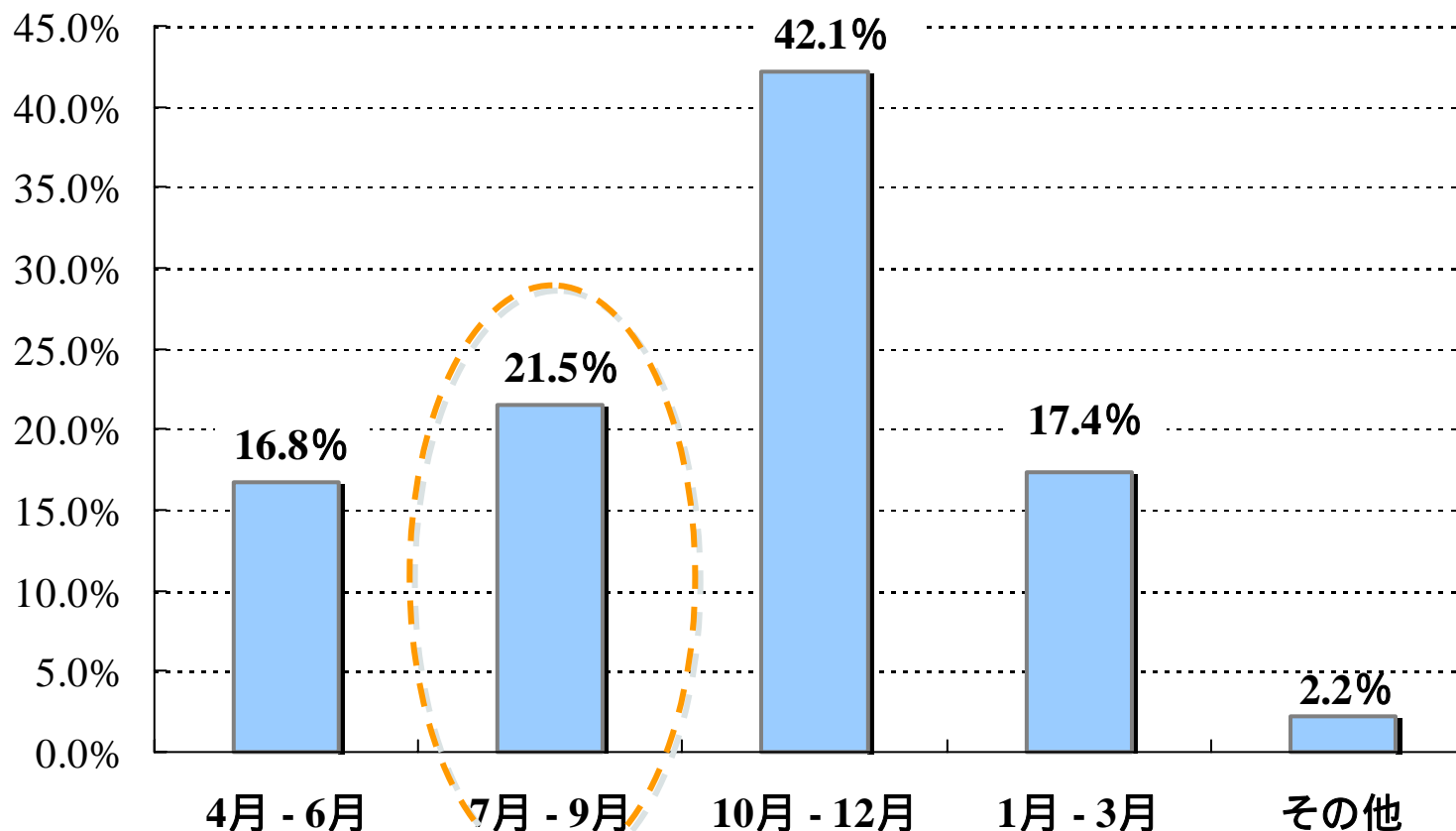


(注1) 上記表中の数字は、「前年同期比」を除き、単位未満を切り捨てて表示している。「前年同期比」は、小数点以下第2位を四捨五入して表示をしている。

(注2) 上記表中「その他」には、Cosmo Investment Management Co., Ltd.にて計上された成功報酬が含まれている。

## 成功報酬の計算基準日の分布状況

運用資産残高(2005年9月末)に占める割合

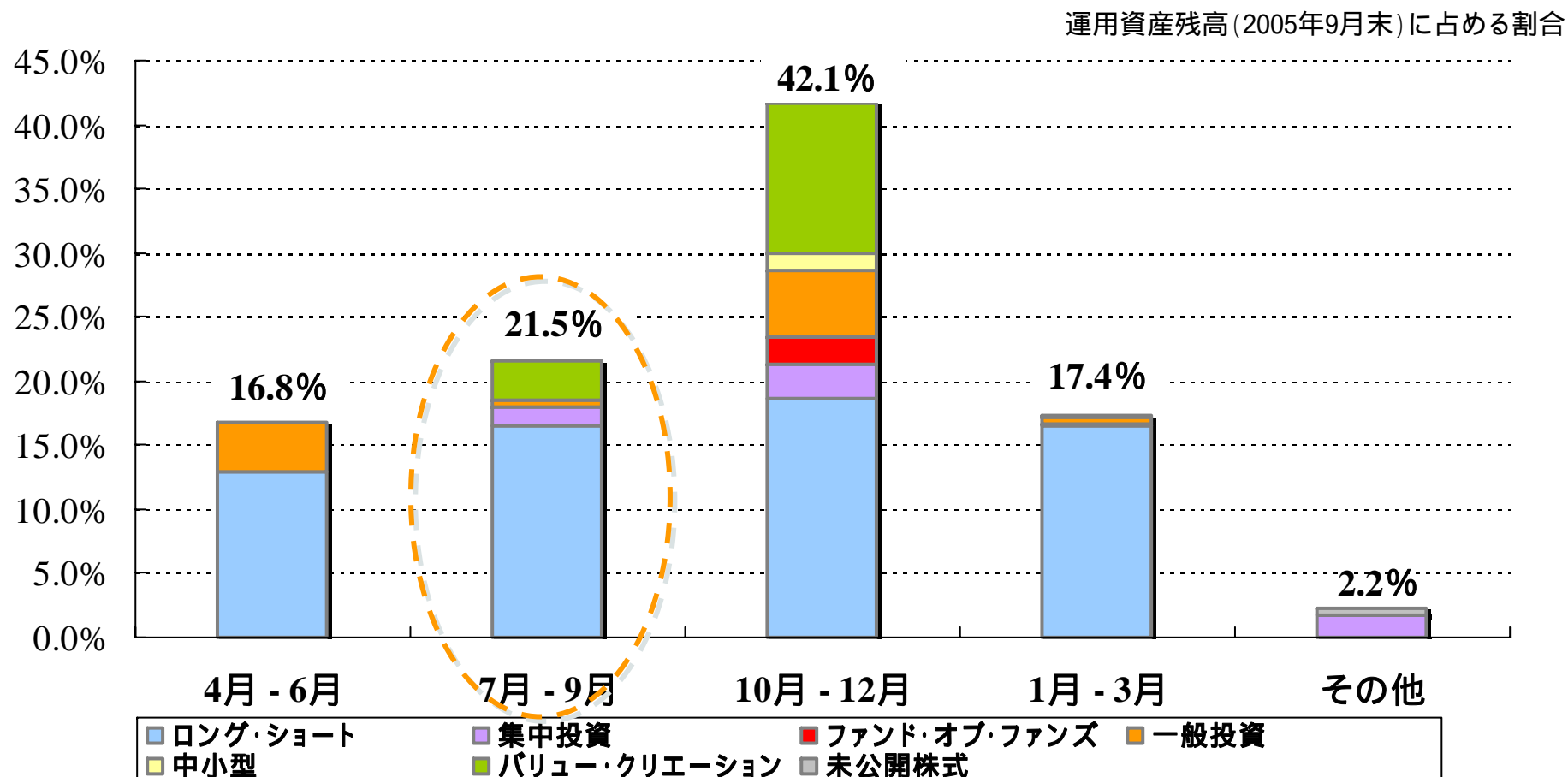


(注1) 上記表中の「運用資産残高(2005年9月末)に占める割合」では、当社が運用する全てのファンド(「ファンド」とは、投資信託あるいは投資一任口座を指す。以下同様)を、成功報酬の基準日および支払いが確定する月ごとに分類し、その上で、当社の2005年9月末の運用資産残高に占める割合をグラフ化した。その際、複数の支払時期があるファンドについては、該当ファンドの残高全てを各月に計上、各月に重複して計上している分は、運用資産残高合計にも加算、成功報酬がついていないファンドは、運用資産残高の合計から除外、という調整を行い、上記割合を算出している。尚、上記の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入し、表示している。

(注2) 上記の数字は、社内データ及び当社資料による概算値であり、正確性を保証するものではない。



## 成功報酬の計算基準日の分布状況；投資戦略別内訳

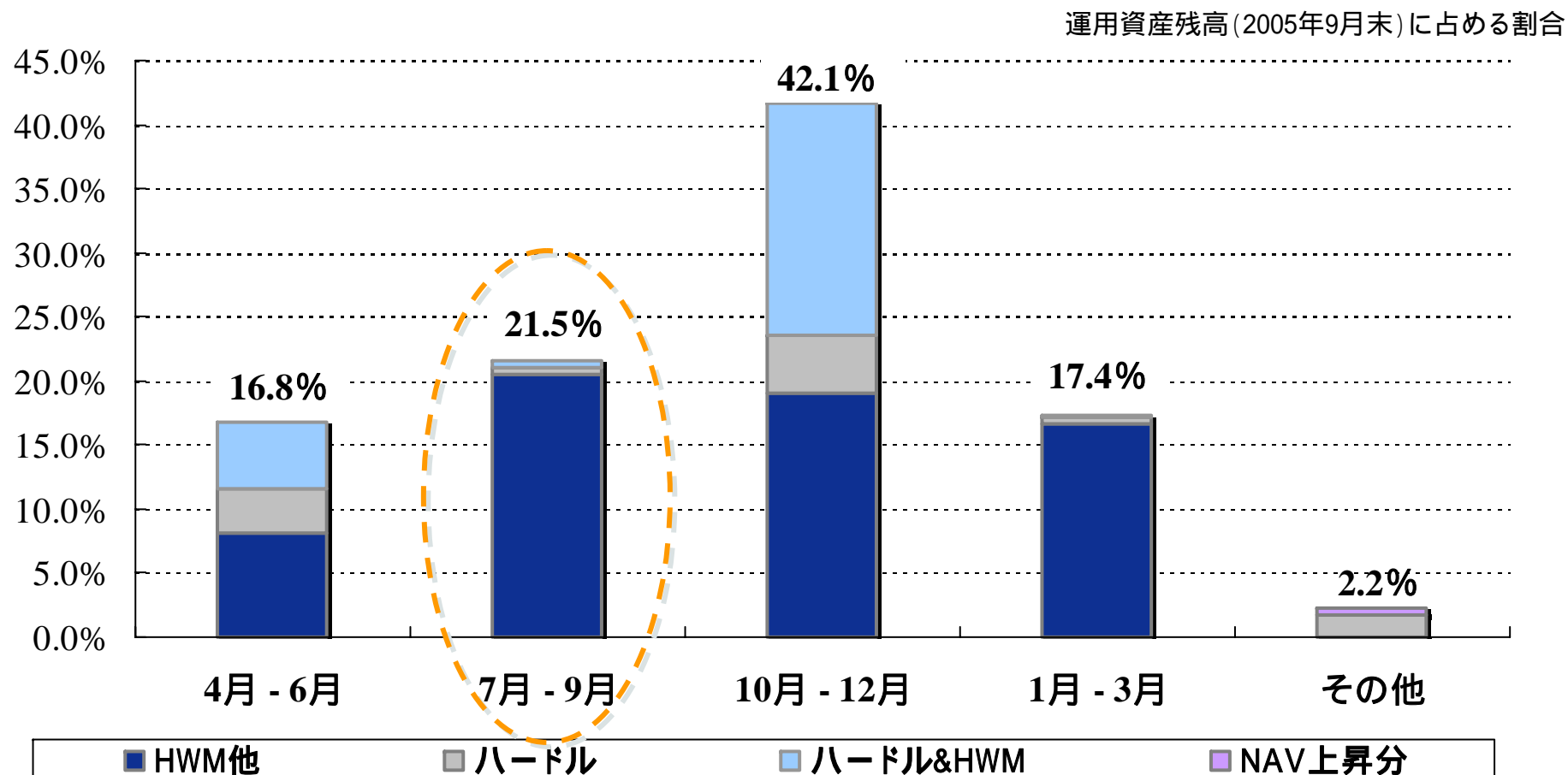


(注1) 上記表中の「運用資産残高(2005年9月末)に占める割合」では、当社が運用する全てのファンド(「ファンド」とは、投資信託あるいは投資一任口座を指す。以下同様)を、成功報酬の基準日および支払いが確定する月ごとに分類し、その上で、当社の2005年9月末の運用資産残高に占める割合をグラフ化した。その際、複数の支払時期があるファンドについては、該当ファンドの残高全てを各月に計上、各月に重複して計上している分は、運用資産残高合計にも加算、成功報酬がっていないファンドは、運用資産残高の合計から除外、という調整を行い、上記割合を算出している。尚、上記の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入し、表示している。

(注2) 上記の数字は、社内データ及び当社資料による概算値であり、正確性を保証するものではない。



## 成功報酬の計算基準日の分布状況；算出基準別内訳

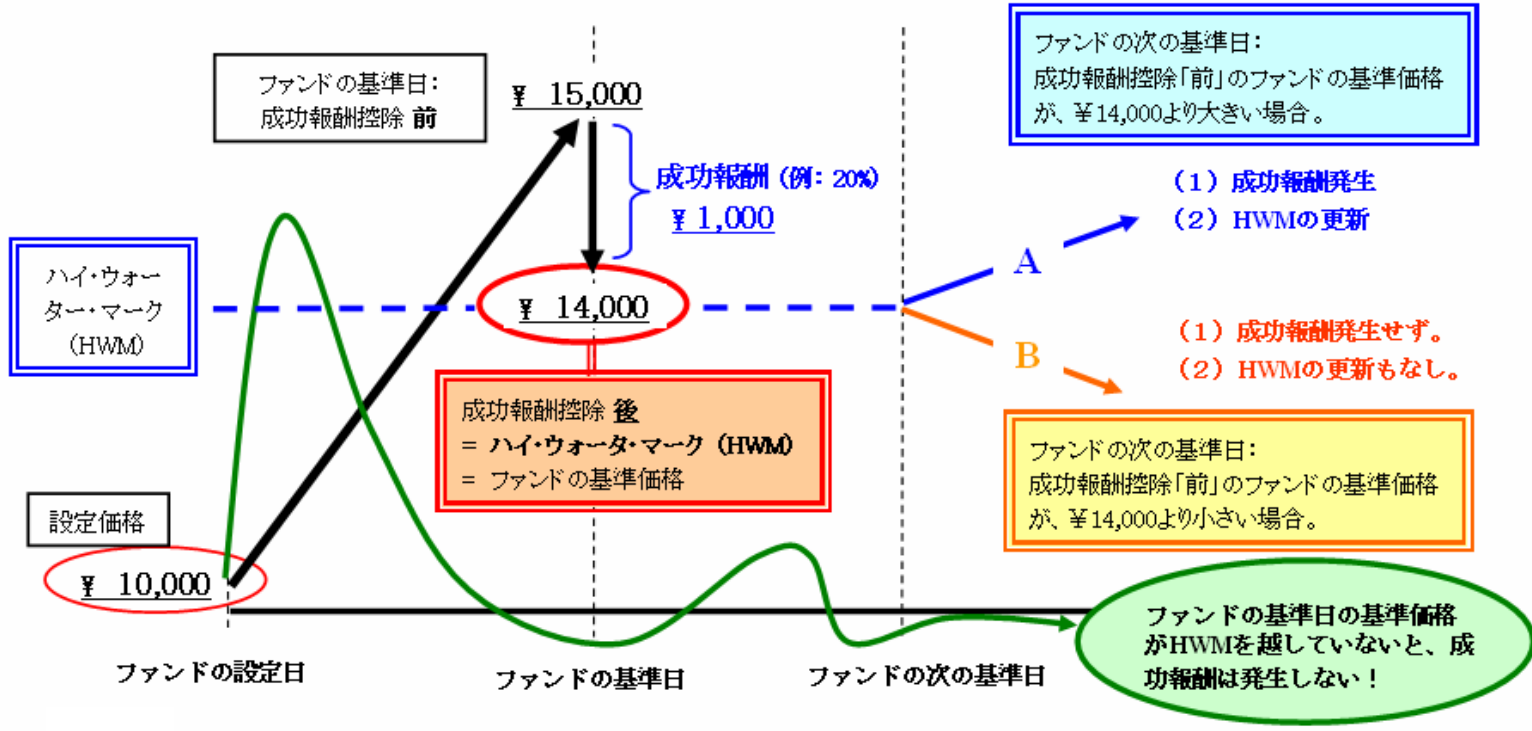


(注1) 上記表中の「運用資産残高(2005年9月末)に占める割合」では、当社が運用する全てのファンド(「ファンド」とは、投資信託あるいは投資一任口座を指す。以下同様)を、成功報酬の基準日および支払いが確定する月ごとに分類し、その上で、当社の2005年9月末の運用資産残高に占める割合をグラフ化した。その際、複数の支払時期があるファンドについては、該当ファンドの残高全てを各月に計上、各月に重複して計上している分は、運用資産残高合計にも加算、成功報酬がっていないファンドは、運用資産残高の合計から除外、という調整を行い、上記割合を算出している。尚、上記の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入し、表示している。

(注2) 上記の数字は、社内データ及び当社資料による概算値であり、正確性を保証するものではない。



# 【参考】 成功報酬のしくみ



単純なケースでは、過去の計算期間末日の「一口当たり純資産価額」=「Net Asset Value Per Share」(以下、「NAVPS」と言います。)の最高値を今計算期間末日のNAVPSと比較して、今計算期間のNAVPSの方が高かった場合は、値上がり部分に一定料率をかけ、年一回成功報酬として計算しております(これを「ハイウォーターマーク方式」と言います)。

また、一定のベンチマークに対するアウトパフォーマンスや絶対的な値上がりのパーセンテージ等のハードルレートを設け、それを上回った場合にのみ成功報酬を受領できる契約となっているものもあります。



(注1) 上記の図は、成功報酬の仕組みを簡便的に説明したものである。実際の成功報酬の体系およびファンドの基準価格の計算方法を厳密に説明しているものではない。  
 (注2) 上記では、成功報酬料率を便宜的に20%として計算している。また、上記の「HWM」とは、ハイ・ウォーター・マークの略。

## 経費 内訳

(単位は全て百万円)	分類	2005年3月期		2006年3月期	
		中間期	通期	中間期	前年同期比
支払手数料	営業費用	649	1,599	968	+49.1%
委託計算費	営業費用	93	172	89	-5.0%
その他	営業費用	143	295	162	+13.0%
人件費	一般管理費	1,119	2,453	1,429	+27.7%
うち 賞与引当金		400	-	500	+25.0%
旅費交通費	一般管理費	139	288	142	+2.4%
不動産賃借料	一般管理費	176	371	238	+35.2%
事務委託費	一般管理費	193	374	209	+8.2%
減価償却費	一般管理費	76	166	100	+31.3%
その他	一般管理費	345	766	602	+74.3%
営業費用・一般管理費 合計		2,938	6,487	3,944	+34.2%



(注1) 上記表中の数字は、「前年同期比」を除き、単位未満を切り捨てて表示している。「前年同期比」は、小数点以下第2位を四捨五入して表示をしている。

(注2) 上記表中の「人件費」には、派遣社員等に関する費用も含んでいる。

## グループ人員配置(常勤) 内訳

(注)括弧内の人数は、対2005年3月末比の増減人員数を示している。

	社長・ 監査役	運用調査	営業	コーポレート	ファンド 管理	IT	リーガル&コ ンプライアンス	リスク・パフォー マンス管理	合計
スパークス・アセット ・マネジメント投信	4 (-1)	42 (+9)	16	13 (+1)	9 (+1)	8	5 (+1)	5 (+4)	102(+15)
スパークス証券	0	0	10 (+1)	4 (+1)	0	0	0	0	14 (+2)
スパークス・キャピタル ・パートナーズ	0	2 (+2)	0	2 (+2)	0	0	0	0	4 (+4)
米国子会社	0	1	8 (+1)	5 (+1)	3	3 (+1)	3	0	23 (+3)
英国子会社	0	0	4	2 (+1)	2	0	2 (+1)	0	10 (+2)
香港子会社	0	3 (+3)	1 (+1)	1 (+1)	1 (+1)	0	0	0	6 (+6)
韓国子会社 (Cosmo Investment Management Co., Ltd.)	1	9 (+1)	3 (+1)	4 (+1)	3	0	0	0	20 (+3)
<b>合計</b>	<b>5</b> (-1)	<b>57</b> (+15)	<b>42</b> (+4)	<b>31</b> (+8)	<b>18</b> (+2)	<b>11</b> (+1)	<b>10</b> (+2)	<b>5</b> (+4)	<b>179</b> (+35)

うち、ファンドマネージャー9名、アナリスト20名、トレーダー3名、アシスタント10名

## 主要投資戦略 計測開始日来自リターン

(年率換算)

(コンポジット計測開始日～2005年9月末)

	日本株式 一般(合同口)	日本株式 店頭	ロング・ショート (ドル建、 Lev.2)	ロング・ショート (円建、Lev.1)	集中投資	VCI (ドル建)
コンポジット	16.9%	15.4%	20.7%	7.6%	11.4%	46.9%
参考インデックス値	0.7%	7.7%	3.7%	-0.4%	0.9%	26.6%
超過リターン	<b>16.2%</b>	<b>7.7%</b>	<b>17.0%</b>	<b>8.0%</b>	<b>10.5%</b>	<b>20.3%</b>

参考インデックス	TOPIX配当込	日経JASDAQ 平均	TOPIX配当込 (ドルヘッジ)	TOPIX配当込	TOPIX配当込	TOPIX配当込 (ドルヘッジ)
計測開始日	97年5月	97年4月	97年8月	2000年6月	99年7月	2003年2月
コンポジット・リターン のボラティリティ(年率)	24.7%	25.8%	12.2%	6.4%	23.8%	18.6%

(注1) 上記表中の数字は、当社で運用する主要な投資戦略のコンポジット・リターンを社内資料に基づいて作成した。表中の「参考インデックス」とは、相対比較のために便宜的に採用した指標であり、顧客から要請されているベンチマークとは限らない。

(注2) リターン算出基準は次の通り。「日本株式一般」「日本株式店頭」「ロング・ショート(ドル建、Lev.2)」「集中投資」については、修正ディーツ法・運用関連手数料控除前、「ロング・ショート(円建、Lev.1)」は基準価格法・運用手数料控除後、「VCI(ドル建)」は内部収益率・運用手数料控除前。また、上記数字は小数点以下第2位は四捨五入して表示している。

(注3) 「TOPIX配当込(ドルヘッジ)」は1ヶ月為替フォワード・レートで完全にヘッジされた場合のドル建のリターンを計算している。



## コンポジット算出に関する追記

- 各コンポジットはスパークス・アセット・マネジメント投信株式会社とその100%子会社であるSPARX Overseas, Ltd. 及びSPARX Investment & Research, USA, Inc.が運用するポートフォリオを対象としている。
- 今回提示した各コンポジットの投資戦略の内容は以下の通りである。

コンポジットの名称	投資戦略の内容
日本株式一般(合同口)	合同運用を行う、日本の全上場・公開銘柄を投資対象とするアクティブ投資戦略
日本株式店頭	日本の店頭、中・小型株を主要投資対象とする投資戦略
ロング・ショート (ドル建、Lev2)	日本株に対するロング・ポジションとショートポジションの合計を純資産の2倍の範囲内として安定した絶対リターンを目標とするロング・ショート投資戦略
ロング・ショート (円建、Lev1)	日本株に対するロング・ポジションとショートポジションの合計を純資産の1倍の範囲内として安定した絶対リターンを目的とするロング・ショート投資戦略
集中投資	少数銘柄の日本株式に集中的に投資する投資戦略
VCI(ドル建)	コーポレート・ガバナンスの見地から日本株式に能動的に投資する投資戦略

### 3. リターンに関する追加情報(過去5年の年度別リターン)

	2001年3月期	2002年3月期	2003年3月期	2004年3月期	2005年3月期
日本株式一般(合同口)	-25.25%	-0.22%	-25.58%	78.05%	5.55%
日本株式店頭	-34.98%	-10.21%	-16.85%	69.05%	4.17%
L/S(ドル建、Lev2)	-4.20%	9.68%	-6.41%	37.92%	0.91%
L/S(円建、Lev1)	2.02%(10ヶ月)	7.09%	-7.30%	29.30%	3.58%
集中投資	-11.66%	-9.65%	-10.51%	53.23%	3.12%

- GIPSに準拠したコンポジットは、要請があれば提供することが可能である。

## 当社の成長戦略に関するアップデート



## 成長戦略に関するアップデート

当社の成長戦略は、当初の計画に従い進捗している

### アジア投資の展開

- アジア戦略のハブ機能の強化
  - SPARX International (Hong Kong) Limited が営業を開始 (2005年8月)
- 投資戦略の進展
  - IXIS Corporate & Investment BankとJV設立について合意 (2005年9月)
    - SPARX: 資産運用のノウハウを駆使しアジア地域のヘッジ・ファンドを選別
    - IXIS: デュー・ディリジェンスやリスクモニタリング、ファンド組成においてその専門的知識を提供
- 当社の成功ノウハウをアジア地域へ伝播
  - Cosmo Investment Management Co., Ltd の運用資産残高が1,000億円を突破 (1,127億円: 平成17年9月末現在)
  - 既存販売チャネルを使ってSPARX Korea Long-Short Fundを展開

### 自己資金投資事業

- 資金調達手段を拡充
  - 第1回無担保社債の発行 (平成17年9月)
    - 発行額50億円、償還期間7年間、年利1.31%

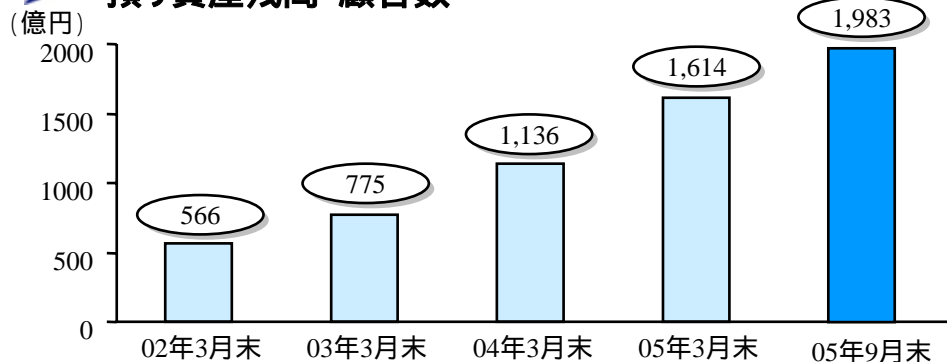


# SPARX証券について



## 業績ハイライト

### ▶ 預り資産残高・顧客数



顧客属性	04年3月末	05年3月末	05年9月末
法人	96	124	133
個人	79	150	160
計	175	274	293

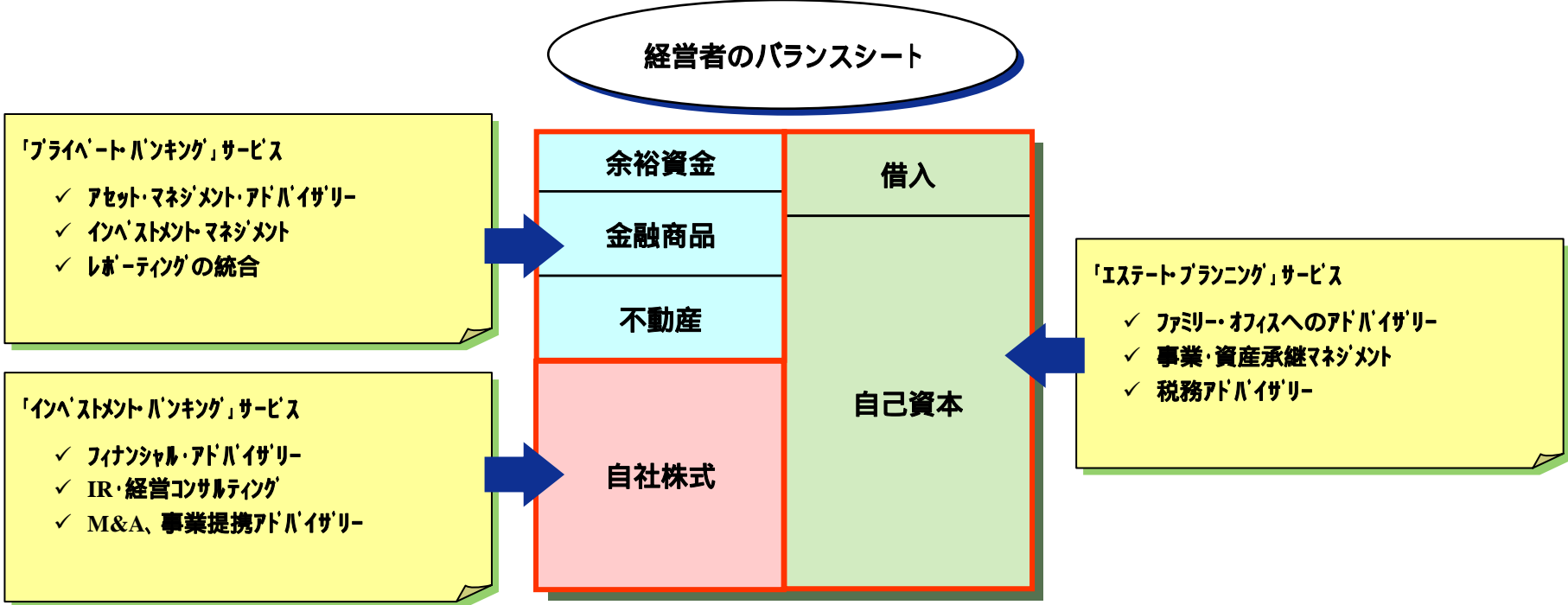
### ▶ 営業収益・経常損益

(\*括弧内は前年同期比)

	(単位:百万円)			
	03年3月期	04年3月期	05年3月期	05年9月期
営業収益	631	776	1,051	660
(前年比)	(---.-%)	(123.0%)	(135.4%)	(131.4%)*
● 委託手数料	19	3	40	0
● 募集手数料	39	83	185	136
● その他手数料	482	623	782	518
● 売買損益	89	65	42	5
販売管理費	326	325	371	166
(前年比)	(---.-%)	(99.7%)	(114.2%)	(105.7%)*
経常損益	310	464	682	496
(前年比)	(---.-%)	(149.7%)	(147.0%)	(143.7%)*
参考値				
Gr. 連結	151	213	303	220
ベース	- 170	- 99	- 66	24



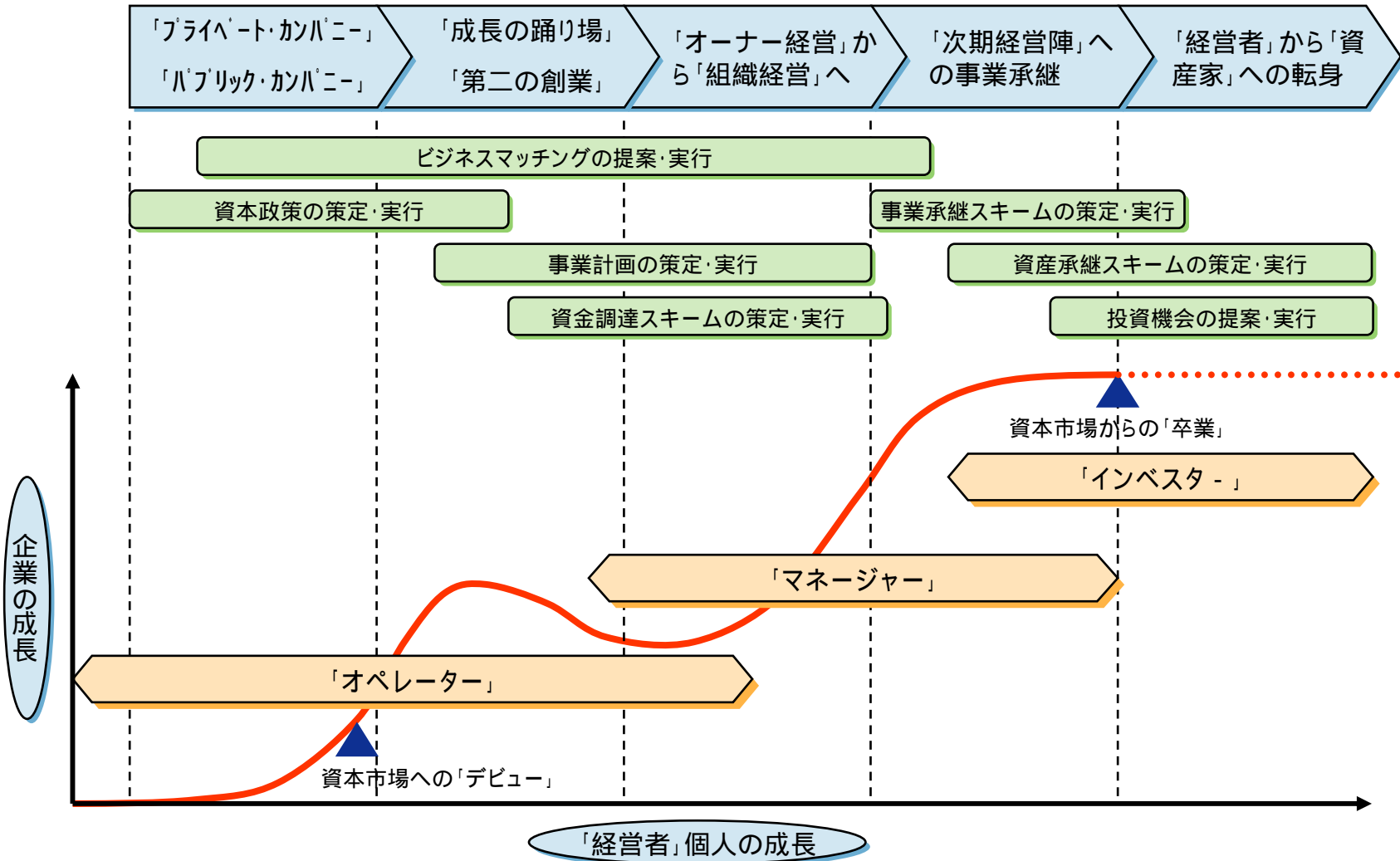
# スパークス証券の目指す付加価値サービス



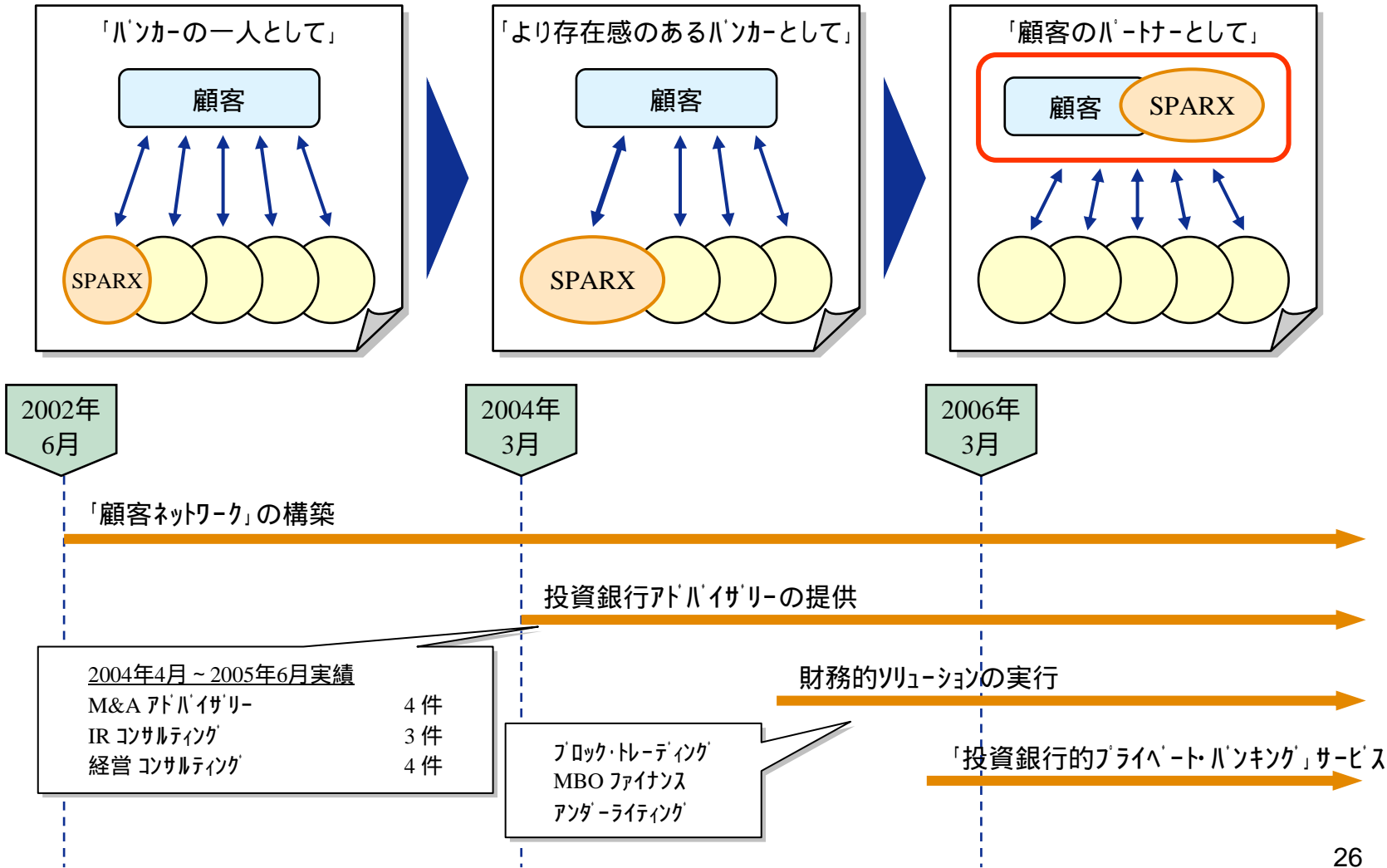
「経営者として」 & 「個人として」有する「思い」・「悩み」に対して  
多面的なサービスを提供する



# 顧客の「成長」に合わせ変質するサービス



# スパークス証券の成長に対する考え方



SPARX韓国子会社(Cosmo Investment Management Co., Ltd.)  
について



## 中間期 決算ハイライト

	2005年3月期		2006年3月期	
	中間期	通期	中間期	前年同期比
運用資産残高 (AUM)平残 (億円)	429	526	872	+103.2%
営業収益 (百万円)	238	740	210	-11.9%
営業費用・一般管理費 (百万円)	361	1,069	118	-67.3%
営業利益 (百万円)	-123	-329	92	N/A
経常利益 (百万円)	-145	-418	99	N/A
当期利益 (百万円)	-145	-401	99	N/A
役職員数(期末) (人)	16	17	20	+25.0%
KOSPI(期末)	835	965	1,221	+46.2%



(注1) 上記表中の数字は、「前年同期比」を除き、単位未満を切り捨てて表示。「前年同期比」は、小数点以下第2位を四捨五入して表示。

(注2) 「役職員数(期末)」は、「期末時点の、常勤の役職員数」を示す。

## 運用資産残高(AUM)属性と海外投資家比率

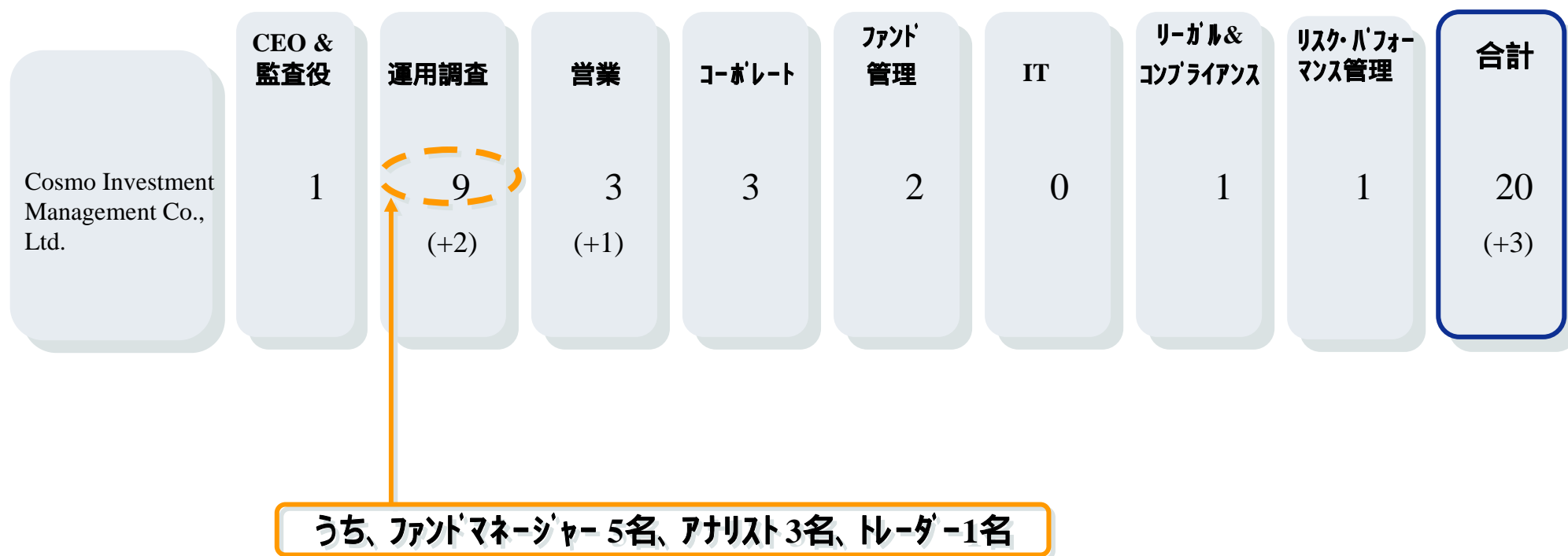
	2004年 6月末	2004年 9月末	2004年 12月末	2005年 3月末	2005年 9月末	構成比
<b>投資顧問業</b> (単位: 億円)						
個別口座 (国内顧客)	372	416	453	596	908	82.3%
個別口座 (海外顧客)	22	30	38	60	172	15.6%
(SPARX Korea Long-Shortファンド)	(5)	(5)	(5)	(6)	(55)	(5.0%)
投資助言契約	20	0	0	6	23	2.1%
<b>合計</b>	<b>415</b>	<b>447</b>	<b>491</b>	<b>663</b>	<b>1,104</b>	<b>100%</b>
<b>海外投資家比率</b> (単位: %)	<b>5.3%</b>	<b>6.9%</b>	<b>7.7%</b>	<b>9.0%</b>	<b>15.5%</b>	



(注1) 上記表中の数字は、社内の概算値を表示しており、正確性を保証するものではない。

(注2) 上記「海外投資家比率」は小数点以下第1位を四捨五入し、単位を%で表示している。

## 人員配置 (常勤) 内訳



(注) 括弧内の人数は、対2005年3月末比の増減人員数を示している。



本資料は、参考資料としてスパークス・アセット・マネジメント投信株式会社が作成したものであり、証券取引法上の開示資料ではありません。また、本資料は、投資情報の提供を目的としたものであり、特定の商品、あるいは、有価証券の勧誘を目的にしたものではありません。投資判断は、各人の個別の情報と判断と責任によってなされるものであり、投資結果についてスパークス・アセット・マネジメント投信株式会社が責任を負う事はありません。情報については、正確を期していますが、正確性に責任を負うものではありません。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点でのものであり、今後、予告なしに変更されることがあります。また、過去の実績に関する数値は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料は、目的によらず、スパークス・アセット・マネジメント投信株式会社の許可なしに複製・複写をする事を禁じます。